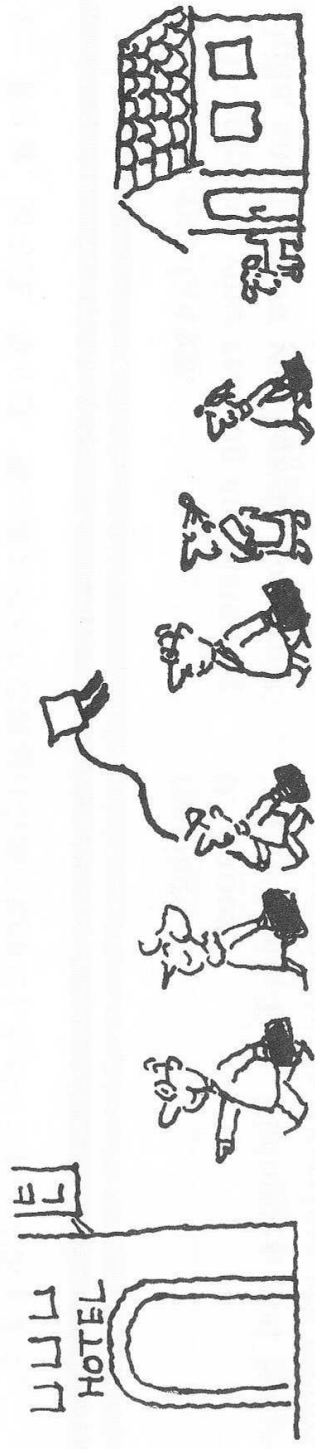


住宅



本文

Main Text

最近、ホテルで正月をすごす人がふえたそうである*。年末に家をしめて、家族全員でホテルにうつる。ホテルでは正月の特別なかざりをつけ、正月の料理を出す。主婦も家事をする必要がない。家族そろってゆっくりすごす。その理由はいくつかある。主人も主婦もいそがしくて、正月の準備ができない場合もある。正月の伝統的な行事がきらいな人もある*。正月に大ぜいの客が来るので、会うのがめんどろうだと思ふ人もある。

むかしは、正月にはいつもよりきれいな物を着て、いつもよりぜいたくな料理を食べ、遠くから親せきの人が集まって、にぎやかに話し合った。子供たちも、正月には特別にお金をもらって、好きな物を買うことができた。正

月は、「いつもと違う」ぜいたくをするときであった。

そのためには家じゆうをよく掃除し、正月のための特別なかざりをつけた。家を大切にしたのは、家が生活の場所だったからである。

今は住宅の利用法が変わった。自分の家で結婚式や祝いの宴会をする人は少ない。たいていの人々がホテルを使う。人にごちそうするときにはレストランに行く。人と話をするときは喫茶店で行く。その上正月まで、ホテルですごす人がふえた。

今の大都会の住宅は、何をするところである。テレビを見て、ねるところか。住宅というより、個室か寝室になったのであろうか。